

フィリピン・ケソン州における小規模農家のための有機農業・種子普及

イベントの 延べ参加者数	208 人
イベント参加者の 満足度	99%
活動の全体目標 に対する達成度	99%



有機種子を収穫する研修センタースタッフ

◆成果と工夫したポイント

●成果

- ・野菜 8 種の種子を生産し、農民 83 名に配布。
- ・有機農法・種子生産セミナー参加者 188 名への指導実施。
- ・有機農業実施 27 団体と提携。
- ・センターが産業貿易省から有機農業機関の認証取得。

●工夫

- ・他の有機農法学術機関専門家の指導機会を頻繁に持った。
- ・参加農家への頻繁な訪問と指導の実施。

課 題

地元農民たちは、有機種子が入手できず、高価な混合種子に依存していた。混合種子は、化学肥料の使用を必要とするため、ケソン州バナハウ山麓の土壌環境の劣化を招いていた。

目 標

- ・オイスカ・ルクバン研修センター（以下センター）が、有機農法並びに有機種子生産促進拠点の認証を得る。
- ・長期目標として、フィリピン各地での有機農家数増加と有機農業生産量増加を実現する。

活動内容

以下の方法により、フィリピン中において農民たちに有機種子の生産並びに貯蔵を普及させること。

- a. 有機農業と有機種子生産・貯蔵に関する研修・セミナーを実施する。
- b. 有機農法・持続可能な農業を促進している他の団体とのネットワークを構築する。
- c. センターが有機農作物生産機関としての認証を得るため、関係政府機関に申請する。

達成できなかったこと

予期せぬ時期の台風や異常気象に対し、有効な作付計画並びに作付スケジュール等の工夫を十分に施せなかった部分があった。

今後の展望

参加農家の有機農法技術向上。参加農家の農業ビジネススキル向上・消費者への啓発。需要の高い種子の増産。



包装され、配布の準備ができた有機種子